

## かわさき区の宝物シート

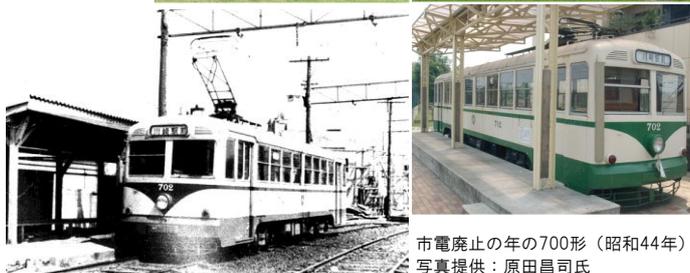
宝物No.
20-3

### さくらがわこうえん・ろめんでんしゃ700形 桜川公園・路面電車700形



エリア	田島地区	シーズン	通年
	桜本・浜町	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代的な文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



市電廃止の年の700形（昭和44年）  
写真提供：原田昌司氏

所在地	川崎区桜本1-14-3
問い合わせ	川崎区役所道路公園センター
TEL	044-244-3206
FAX	044-246-4909
E-mail	
URL	<a href="http://www.city.kawasaki.jp/menu/sisemenu.htm">http://www.city.kawasaki.jp/menu/sisemenu.htm</a>
交通	JR川崎駅よりバス「大島四ツ角」または「四ツ角」下車徒歩5分



#### 基礎情報

- 開設は昭和25年(1950)10月、面積28,104㎡。児童遊園、軟式野球場などのある市民の憩いの場。
- かつて川崎区民の大切な足として昭和44年(1969)の市電廃止まで活躍した路面電車の旧車両700形702号が保存されている。

#### 由来・エピソード

- 川崎市営の軌道電車事業は、昭和19年(1944)川崎駅東口の現在の小川町から渡田3丁目の2.76kmが開通し、軍需工場が数多く操業していた川崎臨海部工業地帯への工場従業員の輸送機関として重要な役割を果たしていた。
- 昭和20年(1945)8月の戦災による壊滅的な影響から、同年12月まで営業を休止したが、その後は順次路線を延長し昭和27年(1952)1月には、京浜急行塩浜駅（現在の塩浜3丁目）に達し、営業路線6.95kmとなる。これにより東海道本線以东の市街地の北半分を京浜急行、南半分を市電が受け持ち、沿線の人々の足として大いに利用された。しかし、交通手段の変化と共に順次廃止され、昭和44年(1969)年3月31日に最後の川崎駅～池上新田（現在の池上町1番）間4.64kmの廃止をもって、24年余りの軌道電車事業は終わりを迎えた。
- 今では川崎に市電が走っていたことを知る人も少なくなったが、鉄道ファンには人気がある。桜川公園に置かれているのは、大正11年(1922)製で東京都電で運行されていたものを、昭和22年(1947)川崎市が買い取り206号として運行に供された。腐食が目立つため昭和40年(1965)に鋼体化改造を行ない、700形702号として市電廃止までの期間、活躍した車両である。

#### 補足・その他

--

#### 関連シート

--